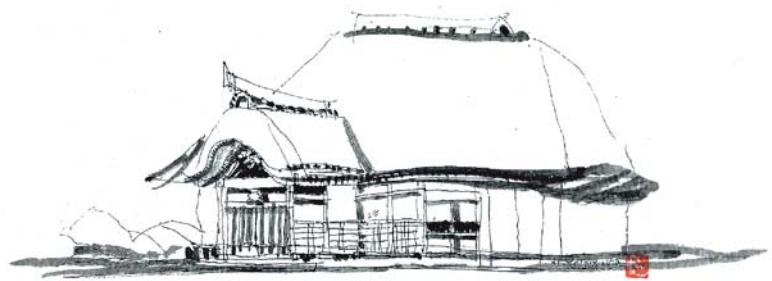


(2017-18年度 国際ロータリー・テーマ)



ロータリー：
変化をもたらす



県指定文化財「富岡家住宅」(土浦市)

県内を巡りながら思うこと

桑原 康二 (中央銀行管理職)

3月に水戸に着任した直後から、「県内の44市町村すべてを公共交通機関だけで訪問する」という試みを続けています。「深みのある経済分析をするためには、茨城の実態を見て回ることが必要」と考えたのが動機です。「公共交通機関だけで」というのは、当地に車を持ってこなかつたためですが、「どうせなら公共交通機関にこだわって、どこまで行けるか試してみよう」という遊び心もあります。車での直行に比べれば、時間と手間と体力が（意外とお金も）かかりますが、小旅行気分で乗り継ぎルートを考えるのは楽しいですし、移動の過程で、その土地の匂いや歴史の息遣いを体感できるのも魅力です。

現在、35の市町村を巡り、残すは9市町となりました。徐々にハードルが高くなっています。今後は、「最寄り駅から目的の美術館まで1時間以上歩く」とか、「水戸からは直接行けないので、いったん隣接県に出てから目的地に入る」といった経路が増えてきます。

よく「茨城は車社会だから、車がないとどこに行くにも不便だよ」と言われますが、毎

回それを実感しています。本数の少ない路線バスや電車に乗るたびに、車社会の裏返しとして、公共交通機関が苦戦を強いられてきた歴史にも思いを馳せるようになりました。茨城が飛躍的な成長を遂げ始めた1970年頃と比べると、県内の自動車保有台数は約14倍に増加しています。その一方で、路線バスの乗客数は約1/8に減少しています。

ただ、先行きを考えるとどうでしょう。国も県も全体人口と若者人口が減り、高齢者人口が累増する事は不可避です。交通弱者の（車を運転できない）高齢者が増えしていくと、現在のような「自家用車と道路交通網」を前提としたまちの構造では、人々の日々の生活（買い物や医療）が立ち行かなくなるおそれもあります。程度の差や時期の早晚はあれ、どの地域にも降りかかる課題です。詳述する紙幅はありませんが、解決策の一つとして、公共交通機関を活かしたコンパクトなまちづくりが各地で提唱されています。私も茨城の実態に即して、こうした構造問題を考えていこうと思っています。

No. 16 2017・10・24

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mitо-rc.jp/>

水戸ロータリークラブ

■会長 砂押 憲正 ■幹事 衣笠 勤

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階



皆さんから頂戴いたしました多くの物品やご寄付を賜り無事に現地の子供たちに手渡すことが出来、目的を果たして帰国することができました。改めて委員会を代表致しまして大変感謝申し上げます。有難うございました。

今年で5年目を迎えたベトナム支援、本年は9月30日に行われました中秋祭に成田(浩)会員、横須賀(良)会員、白田副委員長と私の4名で伺ってまいりました。

まずは、成長著しいベトナムについての情報を簡単にお話したいと思います。ベトナムは2016年現在、人口は9200万人、数年後には1億人に達する見通しで、多くの開発中のビルやインフラ整備もいたるところで行われています。

ベトナム戦争の影響で国民の平均年齢が30代という事もあり、若者が多く、非常に活気に満ちた国であります。とは言いながらも、いまだ国民一人当たりのGDPは1900ドルおよそ20万円、日本のおよそ20分の1で、世界平均で見てもおよそ20%という低水準。さらにその中で1日を2ドル未満で暮らす貧困層はおよそ人口の4割をしめています。政府開発援助や外国投資が経済を牽引しているのが実情です。

そこで我々の本年度の目的は現地支援のほかに、5年目を迎えた支援の在り方についての検証。支援の必要性や今後の関わりあい方は、非常に大きなテーマであります。現地に入り最初に共に活動しております協力団体であるラム会長をはじめとするWWS(現地法人 エースコック社員を中心としたボランティア団体 現在97名)とお会いして年末の台風被害にあった際の対応についてなど報告を受け、さらに今回の訪問先である小学校についての説明を受けました。カンボジアとの国境付近にあり車で7時間と遠方にある貧しい小学校で、ベトナム国内でも有数の貧困地区であると聞き、支援の必要性を感じ、翌日に中秋祭への参加と支援物資の

提供に向かいました。

小学校は、建物こそ綺麗でしたがそこには上下水道が整備されておらず、電力の供給もままたらない地区の一角にありました。保護者は、地元の唯一の産業である漁業で生計をたてており、生活が貧しい家庭がほとんどであると伺いました。子供たちはこの中秋祭を心待ちにしてくれていて、最高の笑顔で我々を迎え入れてくれました。この日の為に練習してきたのであろうダンスや歌を披露して我々をもてなしてくれました。

我々も砂押会長からお預かりしたメッセージをお伝えし、皆さんから頂いたご寄付を子供たちに手渡しして参りました。楽しくも素敵な時間を過ごしつつ子供たちの沢山の笑顔とともに中秋祭を無事に終える事が出来ました。

例年ですと中秋祭後にWWSと我々で近場の飲食店で簡単な反省会を行いますが、時間帯も遅く、近隣に飲食できる場所がないということで、急遽学校関係者、会場の警備も担当頂いた警察の皆さんのお手配を仰ぎ、教室を開放して宴会の席を設けて頂きました。貧しい地区にもかかわらず沢山の地元のご馳走とお酒を振舞って頂き、おもてなしの気持ちがしっかりと伝わってまいりました。素晴らしい心温まる演出に本当に感激いたしました。

また今回の目的の一つに今後の支援の在り方、とお話ししましたが、持続可能な支援の在り方として支援団体の充実を図るべきであろうと、水戸RCとWWSの連携役として協力者でもある元米山奨学生のアンさんと連絡を取りながら考えていました。その中で連絡の取れた団体がありそれがベトナムの米山学友会です。元米山奨学生、80名程度で構成された団体で、日本から帰国後、FBを利用して仲間を募り、定期的に国内のボランティア活動を行っているそうです。お声をかけたところ我々の運動に興味を持っていたとき、中秋祭に参加して活動を見てみたいということでお二人に参加いただきました。

ご主人が大田原RC、奥様が福井南RCで学ばれたご夫婦で、日本に対する感謝と日頃から積極的なボランティア活動を通してベトナムの

発展に寄与したいと願っている素晴らしいご夫婦でした。また今回の中秋祭に参加したことと共感いただき、是非仲間にも声をかけ共に活動したいと言うお話を頂けました。

纏めとなります、今後このような形で連携の輪が広がっていけば、我々水戸RCの支援の方法も変わり、地区を巻き込んでより大きく効

果的な支援が可能になるかもしれません。うまくいけばこれをモデルケースとして米山学友会の有志と共に支援を必要としている国への効果的な運動が可能になるかもしれません。今後も我々国際奉仕委員会としても彼らと継続的に連絡を取り合いながら、次年度につなげてまいりたいと思います。

例会報告

10月第4例会

司会 佐藤委員

◇ 会長の時間

砂押会長

先週の19日(木)に第3分区親睦ゴルフ大会がありました。当初20組の予定でしたが、あいにくの雨のため15組での開催となりました。水戸RCからは吉原会員(準優勝)、清水会員(7位)、薄井会員(15位)、足立会員と私(50位)が参加致しました。

また21日(土)には、千波湖ビオトープ事業が雨の中開催され、櫻場社会奉仕委員長、高原直前会長、田中会員、成田(浩)会員、北島会員、根本会員、衣笠幹事と私が参加致しました。千波湖は水嵩が増していましたが、関係者と参加した子供たちでなんとか植栽できました。なお同日開催予定だった地区親善野球大会は、雨天中止となりました。

今週末には水戸黄門漫遊マラソンがありますが、参加される方はそれぞれの距離での完走を期待しております。第5例会は牧会長エレクトの音楽とパスト会長達で結成されたレジェンド、コーラス隊によるコーラス合唱です。楽しみにしております。

◇ 出席報告

沼田委員長

| 会員数 | 出席数 | 欠席数 | 本日の出席率 |
|------|-----|-----|--------|
| 114名 | 74名 | 40名 | 67.27% |

前週訂正出席率 78.90%

前々週訂正出席率 80.00%

◇ 会員メーカーアップ

10/2 北海道2500REC 石井 隆志

| | | |
|-------|----------------|--|
| 10/18 | 水戸西RC | 二川 泰久 |
| 10/18 | 水戸RAC | 山口 晃平、安 圭一、 松本健一郎、足立 修 |
| 10/19 | 第3分区親睦ゴルフ大会 | 砂押 憲正、清水 洋一、足立 修、 薄井親一郎、吉原 清寿 (石井 隆志、五條 史男、小林大次郎) |
| 10/21 | 社会奉仕活動千波湖ビオトープ | 砂押 憲正、衣笠 勤、北島 重司、 成田 浩明、根本洋一朗、櫻場 誠二、 高原 裕、田中 邦彦 |
| 10/22 | 玉造RC | 井上 壽博 |
| 10/22 | 新会員向けオリエンテーション | 長野 久嗣、大久保博之、横須賀良一、 片岡 宗厳、松本健一郎、中村 昭彦、 成田 誠、鯉沼 弘之、二川 泰久 |
| 10/23 | 水戸さくらRC | 石井 隆志、中山 義雄 |

◇ にこにこBOX

大塚委員

寺門会員……お蔭様で「めぶきFG」一周年。

ご支援に感謝申し上げます。

佐藤会員……ガス展が終了しました。

益子会員……二人目の孫が生まれました。

実和(ミワ)という名前になったようです。

後藤会員……本日も米山の御寄付をいただきありがとうございました。

加藤会員……本人誕生祝ありがとうございました。

片岡会員……妻の誕生祝ありがとうございます。

| | | |
|-------|----|---------|
| 本日の合計 | 6件 | 50,000円 |
|-------|----|---------|

◇ 米山BOX

川上 偉司会員……米山功労者献金
(第3回) 10,000円 (累計 830,000円)
中山 義雄会員……米山功労者献金
(第4回) 10,000円 (累計 640,000円)
小林大次郎会員……米山功労者献金
(第2回) 10,000円 (累計 320,000円)
横須賀良一会員……米山功労者献金
(第3回) 10,000円 (累計 230,000円)
川崎 洋会員……米山功労者献金
(第2回) 10,000円 (累計 220,000円)
衣笠 勤会員……米山功労者献金
(第10回) 10,000円 (累計 200,000円)
小泉不二夫会員……米山功労者献金
(第10回) 10,000円 (累計 200,000円)
小田部 卓会員……米山功労者献金
(第5回) 10,000円 (累計 150,000円)
北島 重司会員……米山功労者献金
(第2回) 10,000円 (累計 120,000円)
神尾圭太郎会員……米山功労者献金
(第1回) 10,000円 (累計 110,000円)
寺門 一義会員……準米山功労者献金
(第10回) 10,000円 (累計 100,000円)
和田徹太郎会員……準米山功労者献金
(第3回) 10,000円 (累計 30,000円)
桑原 康二会員……準米山功労者献金
(第1回) 10,000円 (累計 10,000円)

| | | |
|-----|-----|----------|
| この計 | 13件 | 130,000円 |
|-----|-----|----------|

◇ 幹事報告

衣笠幹事

1. 2017~2018年度指名委員会が開催されます。関係会員のご出席をお願いいたします。
と き 10月24日(火) 13:40
ところ 例会場 ロビー
議 題 2018~2019年度役員・理事について
2. 第3分区会長幹事会が開催されます。
と き 11月12日(日) 18:30
ところ 笠間 吉光庵(旅館いなみ)
笠間市来栖45-5
TEL 0296-72-0165
議 題 1) 第3分区インターナシティ・ミーティングについて
2) その他
出席者 砂押 憲正 会長、衣笠 勤 幹事

3. 高原一嘉会員の自宅住所及び電話番号が変更になりました。

住 所 〒310-0062 水戸市大町2-2-77
エミネンス大町902号
電話番号 227-3310

4. 今月は米山月間です。上期年会費に合わせて111名の方々より10,000円を頂き米山奨学会に送金いたしました。目標金額にはまだ達しておりませんので、例会にて特別寄付をされていない会員はご献金をお願いいたします。



千波湖ビオトープ事業 10月21日(土)開催



新会員オリエンテーション 10月22日(日)開催



週報担当 二川 泰久 委員長

例会予告

11月 7日 (火)
卓話「ロータリー財団月間に因んで」
ロータリー財団資金管理委員
宇留野秀一 氏 (水戸南RC)

11月 14日 (火)
卓話「私のキャスター日誌」
NHKアナウンサー 森 花子 氏

11月 21日 (火)
—イニシエーションスピーチ—
卓話「蛸話」
鯉沼 弘之 会員

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……